



東京学芸大学附属国際中等教育学校

第6回公開研究会のご案内



研究主題

グローバル化社会に生きる資質・能力の育成
 - 国際バカロレアの教育システムに基づく『学びの地図』作成へ -

予測困難な時代に、一人一人が未来の創り手となるために必要な資質・能力を育成することを目指した次期学習指導要領が実施に向けて大きく動き出しています。その中で、身につけるべき資質・能力や学ぶべき内容などの全体像をわかりやすく見渡せる「学びの地図」は各校の教育のグランドデザインであり、また改善の方向です。

本校は昨年度初めて国際バカロレア (IB) ディプロマプログラム (DP) の卒業生を出しました。また、IB の中等教育プログラム (MYP) も今年度で9年目を迎えています。これらの実践を踏まえたIB教育に基づく「学びの地図」づくりが本公開研究会のテーマです。本校が取り組む「学びの地図」に基づく授業実践をご覧ください。あわせて、IB(DP)、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)、スーパーグローバルハイスクール(SGH)の取り組みについて情報交換会を行います。多くの参加者の皆さまと交流を深められれば幸いです。

校長 荻野 勉

1. 期 日 **2018 (平成 30) 年 6 月 23 日 (土) 8:30~17:00**
2. 主 催 東京学芸大学附属国際中等教育学校
3. 後 援 東京都教育委員会・練馬区教育委員会
4. 会 場 東京学芸大学附属国際中等教育学校
5. 内 容 **全体講演、公開授業、教科別協議会**
SSH・SGH 課題研究ポスター発表、DP・SSH・SGH 情報交換会
6. 日 程

8:30	8:50	10:10	10:30	11:20	11:30	12:20	12:40	13:30	13:40	15:20	15:40	17:00
受付	基調発表 全体講演	移動	公開授業Ⅰ	移動	公開授業Ⅱ	昼食	生徒発表	移動	教科別協議会	移動	DP SSH SGH 情報交換会	

7. 詳細

【基調発表および全体講演】 8:50~10:10

○基調発表…本校研究部

○全体講演…上智大学総合人間科学部 教育学科 教授 **奈須 正裕** 先生

「資質・能力の育成を目指したカリキュラムマネジメントについて」

【公開授業Ⅰ】 10:30～11:20

教科・科目	学 年	授業主題	授業者
国語総合 (現代文分野)	4 年	物語のたくらみーリライトすることで内容と表現形式の 関連性を認知する『羅生門』の授業ー	若宮 知佐
社会	3 年	「人権」を検討するー人権保障にある表と裏ー	大橋 典子
SS 物理基礎 ^{※1}	5 年	力と運動の探究	西村 墨太 北岡 和樹
英語	2 年 Core	Language and Society : An Introduction ー多様な外国語活動を通して身に付ける批判的思考スキルー	後藤 葵
美術 ^{※2}	1 年	感情を魅せるために	後藤 保紀
SS 家庭 ^{※1}	5 年	生活と科学を結び付ける授業実践 (被服)	菊地 英明
○ディプロマプログラム (DP) 対象クラス ^{※3}			
DP 数学 ^{※4}	6 年 DP	数学を使い、創る活動の水準を高める授業 ー確率分布ー	内野 浩子

※1 SSH 対象科目です。 ※2 公開授業Ⅰと公開授業Ⅱの2時間連続で行います。 ※3 本校は2015年に国際バカロレア(IB)のディプロマプログラム(DP)の認定を受け、2016年度より「日本語と英語によるディプロマプログラム」の授業を開始しました。
※4 授業言語は英語ですが、同時通訳が入る予定です。

【公開授業Ⅱ】 11:30～12:20

教科・科目	学 年	授業主題	授業者
国語総合 (古典分野)	4 年	現代社会に向けてのメッセージを意識して説話を 語り伝えるー批判的思考スキルの育成を目指してー	宇佐見 尚子
国際 A ^{※5}	6 年	国際協力と社会貢献	藤木 正史
数学	1 年	数学を使い、創る活動の水準を高める授業 ー「算数・数学における問題発見・解決の過程」の実現を目指してー	高橋 広明
コミュニケーション英語Ⅱ	5 年	Language and Society : Application ー多様な外国語活動を通して身に付ける転移スキルー	徳 初美
体育	3 年	ダンス授業における ATL スキルの育成 ー発想からつながる新たな探求とスキルー	橋本 みゆき
音楽	2 年	オリジナルとカバーの比較 ー歌における英語と日本語の違いー	水本 肇
美術 ^{※2}	1 年	感情を魅せるために	後藤 保紀
インフォマティクス	5 年	問題解決のためのモデル・シミュレーションの活用法	河野 真也 後藤 貴裕
○ディプロマプログラム (DP) 対象クラス ^{※3}			
DP 化学 ^{※6}	6 年 DP	DP 化学の学びーIA の戦略を立て、議論するー	鮫島 朋美
○学際的単元 (Interdisciplinary Unit) ^{※7}			
技術	2 年	数学の手法を用いてアンプ基板の 成功率向上策を考えよう	馬田 大輔

※5 学校設定教科「国際」の科目の1つであり、SGHのプログラムの一環としても位置付けられています。 ※6 授業言語は日本語です。 ※7 明確な目的のもとに2つ以上の教科を統合して実施する単元のことであり、IBの中等教育プログラム(MYP)の学校では、各学年で少なくとも1つは実施することが定められています。

【SSH・SGH 生徒課題研究ポスター発表】 12:40～13:30

SSH（スーパーサイエンスハイスクール）・SGH（スーパーグローバルハイスクール）指定校事業の一環としての、本校生徒による課題研究の成果を発表します。

【教科別協議会】 13:40～15:20

教科等	協議会主題	助言者
国語	国語科における ATL スキル ^{※8} 育成のプロセス －分析・精査・評価のサイクル－	小澤 大心（Aoba Japan International School）
社会	スキルの伸長を意識した単元設計	
数学	数学を使い、創る活動の水準を高める手立て	西村 圭一（東京学芸大学）
理科	「探究の過程」を実現するための単元設計 －資質・能力の評価の試み－	遠山 一郎（文部科学省）
外国語	多様な外国語活動を通して身に付ける ATL スキル	高山 芳樹（東京学芸大学）
保健体育	保健体育科が育成を目指す資質・能力と ATL スキルとの関連	鈴木 聡（東京学芸大学）
音楽	情報交換会 MYP 音楽と道徳、探究活動	中地 雅之（東京学芸大学）
美術	美術科教育における ATL の可能性	西村 德行（東京学芸大学）
家庭	科学的な理解を深める家庭科の授業実践	
国際	学校設定科目：国際 A 「国際協力と社会貢献」の試み	
学際的単元	学際的単元の設定とカリキュラム・マネジメント	赤羽 寿夫（東京学芸大学）

※8 ATL (Approaches to Learning) スキルとは、生涯の学習にわたって土台となるスキル群のことです。一般的なスキルと学習分野ごとのスキルの両方を含み、多くのスキルがすべての教科等に応用され、「学習ツール」として機能します。

【DP・SSH・SGH 情報交換会】 15:40～17:00

DP 情報交換会

本校では日本語と英語によるディプロマプログラムの実施3年目を迎えました。また、2017年度に初となるDP一期生が卒業しました。今回のDP情報交換会では、その卒業生を迎えDPでの学びや進路についてなど、DPを修了した今だからこそ語れることを聞いていきます。DPにご関心のある教育関係者や先生方にご参加いただき、理解を深めたいと思います。

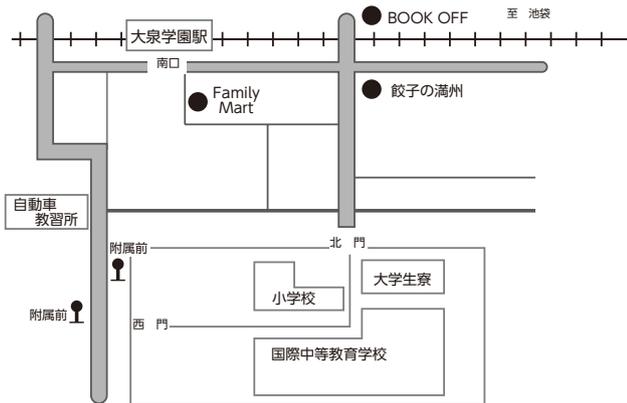
SSH 情報交換会

本校のSSH事業は5年目を迎えました。「国際バカロレアの趣旨に基づく理数探究教育プログラムの開発及び実践」を研究課題に掲げ、中高6年間での系統性を持たせたカリキュラム開発や課題研究への取り組み等を推進しております。今回のSSH情報交換会においては、授業および課題研究において生徒の主体的な探究活動を促すしくみについて、多くの先生方や教育関係者の皆さんと情報交換や交流を深めたいと思います。

SGH 情報交換会

本校のSGH事業は4年目となります。課題研究を4年間実践し、生徒の資質・能力の育成とその評価方法の策定について研究を進めてきた結果としていくつかの仮説を立てることができるのではないかと考えております。今回の情報交換会では、SGHの研究開発を通して育まれる資質・能力とは何なのか、またそれらの育成に関連している要素や仕組みについて本校の現状をご報告するとともに、先生方やご参会の皆様と意見を交換する機会を持ち、交流を深めたいと考えております。

8. アクセス



電車

○西武池袋線「大泉学園駅」徒歩8分

バス

○西武バス・関東バス「学芸大附属前」下車

・吉祥寺駅（武蔵関経由）より「新座栄」行
「大泉学園駅南口」行

・西荻窪駅（上石神井経由）より
「大泉学園駅南口」行

・上石神井駅より「大泉学園駅南口」行
「長久保」行

※ 駐車スペースがございませんので、お車でのご来校はご遠慮ください。

9. 参加のお申し込みについて

参加のお申し込みは以下の方法でお願いいたします。

1 Web ページからの申し込み

本校 Web サイト(下記 URL)の研究活動のページより、
必要事項を入力し送信してください。右の QR コードもご利用いただけます。

<http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp>



2 郵送による申し込み

同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、下記住所の本校研究部宛にお送りください。

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-22-1

東京学芸大学附属国際中等教育学校 研究部 宛

3 FAX による申し込み

同封の参加申込書に必要事項をご記入の上、下記 FAX 番号まで送信してください。

FAX 03-5905-0317（別途 FAX 送信状などは不要です）

準備の関係上、**6月15日（金）**までにお申し込みください。当日受付も行いますが、お弁当を注文される方は必ずこの日までに事前申し込みを行ってください。

※参加費は無料です。

※本公開研究会は、教育関係者を対象としております。

お問い合わせ先

東京学芸大学附属国際中等教育学校

〒178-0063 東京都練馬区東大泉 5-22-1

TEL 03-5905-1326

URL : <http://www.iss.oizumi.u-gakugei.ac.jp>

FAX 03-5905-0317

E-mail : kenkyu@tguiss.jp